



2018年8月30日
株式会社ヴィンクス

専門店向けMDにおけるAI需要予測サービス提供開始のお知らせ

株式会社ヴィンクス（本社：大阪市北区、代表者：代表取締役 社長執行役員 藤田 俊哉、以下「ヴィンクス」という）は、2018年10月よりパーソナル人工知能「SENSY」の需要予測機能と専門店向け基幹システム「AP-Vision/Cloud」を連携したサービスを開始致します。

「SENSY」は、SENSY株式会社（本社：東京都渋谷区、代表者：代表取締役CEO 渡辺 祐樹、以下「SENSY」という）が開発した、人の感性（センス）を理解するパーソナル人工知能であり、同社はこれを活用した需要予測サービス「SENSY MD」を提供しております。「AP-Vision/Cloud」は、株式会社ホロン（本社：名古屋市東区、代表者：代表取締役 小泉 登、以下「ホロン」という）とヴィンクスが共同開発した専門店向けクラウド版基幹システムです。ヴィンクスは2017年にSENSY及びホロンへ出資し、連携を強化して参りました。

「SENSY MD」と「AP-Vision/Cloud」を連携させることで、「SENSY MD」が予測した販売数量に基づく仕入れの実施や、値引き額に対する販売数量の予測によるマークダウンの最適化が、「AP-Vision/Cloud」の機能によって、専門店の実務オペレーションとして可能になりました。これにより、不良在庫・機会損失の低減、マーチャンダイジング・オペレーションの高度化を実現し、専門店事業における利益最大化を支援いたします。また、「AP-Vision/Cloud」以外のMDシステムを採用されている専門店には、当社が開発した「SENSY MD」連携モジュールを利用することで、このサービスを利用することが可能になります。

来春には、「AP-Vision/Cloud」のマルチデバイス対応バージョンのリリースを予定しています。基幹システムに求められる、操作画面の高い表現力・操作性を確保しつつ、OSに依存しないマルチデバイス化への対応を行うことにより、短期間での基幹システムの習得と省スペース・既設機器の有効活用など店舗、本部にあったデバイスの選択が可能になります。

本サービスの提供を通じて、アパレル業界・ユーザー企業の発展に寄与し、「人々の暮らしと流通企業のビジネス活動を情報システム技術で融合し、豊かな社会の実現に貢献する」ヴィンクスの経営理念の実現を目指してまいります。

【ホロンの概要】

- ①商号 : 株式会社ホロン
- ②代表者 : 代表取締役社長 小泉 登
- ③本店所在地 : 名古屋市中村区名駅二丁目 37 番 21 号
- ④主な事業内容 : ソフトウェアの企画・設計・開発・運用保守
- ⑤URL : <http://www.holon.ne.jp/>

【SENSYの概要】

- ①商号 : SENSY株式会社
- ②代表者 : 代表取締役CEO 渡辺 祐樹
- ③本店所在地 : 東京都渋谷区神南一丁目 12 番 16 号 アジアビル 5 階
- ④主な事業内容 : 人工知能開発事業
- ⑤URL : <https://sensy.ai/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ヴィンクス リテールソリューション第2事業本部 AIソリューション部
電話 : 03-6859-7394

以上